



蓬萊町だより

第二十五号

平成元年八月十日
蓬萊町会
文化文者
編集者

蓬萊町界限（その二十一）

大正元年（一九一二年）のわが町の1

林 順信

●駒込蓬萊町は明治以降の名前

近頃本郷界限を歩いていると、硝子ばりの「旧町名由来」という掲示板が、街角に建てられたのが目につく。「住居表示に関する法律」というのが成立したのが昭和三十七年だった。それから約十年以内に、従来の由緒ある旧町名がごとく統合改悪されて、現在の様な愚にもつかない名前を無理やり使わされるはめになっている。

どうせおやりになるのなら、都内全域に亘ってやればいいのに、途中で総理府の方から「伝統や由緒ある町名をやたらと変えないように」とかいうコメントが出たものだから、そうでなくしてさえ、文化人達や地名学者に批判されて勝ち目のないお役所は、逃げ腰、従って、新宿区の牛込だの四谷だのは、バカを見ないで助かっ

た。市ヶ谷加賀町、薬王寺町、二十騎町、細工町、納戸町、笹筒町、とか、四谷に廻れば、舟町、荒木町、左門町とか、実に快い町名がまだ儼然と残っている。

罪ほろぼしではないのだろうか、旧町名に関する本や掲示板を見るとハラが立つのは私だけではないだろう。あれは文化破壊行為の一種にちがいないからだ。

閑話休題、わが蓬萊町の町名は江戸時代にはなく、明治五年以降につけられたものだ。

よく、東京のことについて調べるのに先ず手をそめる「風俗画報」臨時増刊「新撰東京名所国会」の「東郷区之部・巻三」によると、

「駒込蓬萊町

◎位置及地勢
駒込蓬萊町、南は駒込追分町に接し、東は駒込千駄木町、同林町に隣り、北は駒込浅嘉町に面し、西は浅嘉町、肴町、追分町に接す、地勢高燥平坦なり、番地は一より七十三に至る。

◎町名の起源並沿革

駒込蓬萊町は、元文年間町屋を設け、隣地の寺院四箇寺（瑞泰寺、清林寺、栄松院、光源寺）と相對するに因り四軒寺町と称せり、明治五年二月浅嘉町の内及び高林寺門前其他の寺地を合し、将来の繁栄を祝して此の様に改め、十三年駒込片町分の内及び下駒込村の内を併す」と出

ている。

この「風俗画報」は明治四十年（一九〇七年）に発行されたが、今から百年前の明治二十三年（一八九〇年）に出版された村田峰次郎編の「東京地理沿革史」には、

「駒込蓬萊町はむかし四軒寺町と云いて寺院多き所なり。明治初年今の町名に改む。町内御苗木繩手と唱ふる所あり。寺院は十方寺、長元寺、浄心寺、勝林寺、浩妙寺、栄松寺、真浄寺、海蔵寺、光源寺、蓮光寺、瑞泰寺、顕本寺、高林寺、清林寺、大林寺、専西寺と云ふ」と出ている。余り町名の由来そのものについては、触れられていない。この「御苗木繩手」というのは、有名な尾張屋版の「江戸切絵図」には、蓬萊町の浄心寺門前だから長元寺門前あたりにかけて「ウナギナワテ」と片仮名で記入されている。一説には苗木を売る見世が出たからとも、他説では一直線の長い通りなので、うなぎの様に長いという形容だとも言い、深川の小名木川も、うなぎ川という感じの当て字だという談もあったくらいだが……。明確なことはわからない。

（以下次号へ）

蓬萊町古寺巡礼 その六

瑞泰寺（浄土宗）

住友銀行口山支店の並びがこの寺である。入口には印度象を刻り出した石柱がめづらしい。

蓬萊句壇

開祖は光蓮社勝誉上人桂芳和尚という方で、百三十有余才の天寿を全うされたと伝えられている。天正十七年（一五八九年）に神田明神下に創建された。当時は「桂芳院」と号していたが、三世大誉上人の時に丹後の国主、京極高三公が前の城主丹後守高知公の冥福を祈願して新たに仏殿、僧房、山門寺を造改築して、高知公の法号をとって「瑞泰寺」と名づけ京極家の菩提寺と定めたという。慶安元年（一六四八年）第四世教誉上人の頃、寺域が幕府御用地となったため現在の場処に移転した。その後度々の火災に逢い、現在の本堂が完成したのは昭和四十三年（一九六八年）で石象の門柱もこの時に落成した。

この寺には元禄時代に木食上人が作られたという。身丈八尺（約二・四米）のお地藏様（鋳銅）が安置されており、当時、駒込瑞泰寺、千駄木専念寺、下谷心行寺、上野大仏堂、浅草正智院の六ヶ寺に安置された六地藏の第一番の札所となっていた。残念ながら戦災で焼失し現在は身代りの石仏が安置されている。このお地藏様は昭和の初め頃まで縁日が立ち、毎月の縁日には多くの参詣者でにぎわったことである。



路の葉を煮つめる香り夕厨
雀の子常連顔の米屋かな
千重

売れ残る噂の空地木枯れて
裏坂に杜を越え来る宮神楽
すえ

句歴五年句を食む虫となりにけり
筋雲や清和の空を一刷毛す
向雪

嵩だかの絵馬札につく春の雪
啓蟄や夜の灯求め街に出づ
喜一

年甲斐もなく乗せられて四月馬鹿
寺廻りして春でいの靴ぬぐう
連木

リラ冷えやシーツを替へるメイドたち
「妻の日」というあれば五月かな
浦雨亭

町会活動の概要

平成2年3月下旬から平成2年6月末まで

総務部

4月12日 文京テレビの区民番組「町会ばんざい」の収録申し込みがありました。

で本日行われた定例役員会の模様と町会活動並びに町の特徴について役員が説明し、そのほか町内の色々の情景をテレビ局が収録、この番組は後日区民チャンネルで放映されました。

4月15日 根津神社「つつじ祭」開園式があり町会長が出席いたしました。

4月18日 地下鉄7号線、東大前駅設置対策協議会が向丘出張所で行われた。

4月25日 向丘地区町会長会議が行われた。

5月10日 向丘地区町会連合会総会開催。

6月30日 当町会の平成2年度総会を開催。

☆ 町会役員の一部欠員補充について、

会計監査 (旧)須藤正四郎 (新)竹中一馬

地区担当 (旧)須藤正四郎 (新)川瀬芳孝

交通部

4月6日～15日「春の全国交通安全運動」実施、運動期間中には交通部員、婦人部員、友の会会員の皆さんが街頭にたつて交通安全の啓蒙の普及に活躍して戴きました。

無謀な運転も歩行も事故を引き起こす大きな原因、みんなが交通ルールをしっかり守って事故の無い町づくりに努めて貰いたいですね。

4月26日 駒込交通安全協会、理事会、

6月22日 駒込交通安全協会内に駐車場対策協議会が設置される。

防 犯 部

毎月2回位ですが、駒込警察署が発行する「防犯ニュース」を回覧または掲示板でご覧になっておられると思いますが、防犯の参考にお役立て下さい。

空き巣の防止はまず施錠を確実に、さらに近隣の方々に留守にする事を告げておくことも意外と防止に役立つものです。

4月22日 向丘地区防災講習会 文京六中にて
午前9時から午前11時まで

このような催しがある毎に町内皆様の参加を呼び掛けて参りましたが今回も参加された方はごく僅かしかおられません。

災害は予測の出来ないもの、従って常日頃から火災(地震よって二次的に発生する火災)に対して慌てずに消火活動をする事の出来る消火知識と心構えを皆さんがもっておられる事が必要ではないでしょうか。

次回にこのような講習会が行われる節には皆様こそぞって参加して戴き、初期のうちに消火させる消火技能と知識を是非学んでみて下さい。

4月12日 本郷防火協会 定例理事会、
4月27日 本郷防火協会 平成2年度総会、

文 化 部

根津神社例大祭のお知らせ、

祭礼は9月15日(日)16日(月)連休に決まりました、御興・だし車の町内渡御は16日に行います。今年の祭礼も例年のおり町内行事として賑やかに挙行するためだ今準備をしております。祭礼に際しては、町内の皆様に過分の御負担をお掛けすることになりますがよろしくお願い申し上げます。

婦 人 部

4月30日 根津神社「つつじ祭」甘酒茶屋奉仕、

当町会が担当日にあたりましたので当日の甘酒茶屋の運営を婦人部員が終日奉仕いたしました。

5月1日

日本赤十字社、社務募集について、いつもながら町内皆様の温かい御協力を賜りまして左記の金円を東京都支部文京地区に納付いたしました。
一金 十六万七千五百円

青 年 部

3月24日

青年部・友の会合同観桜会、はじめての試みですが、今回友の会の皆さんと一緒に観桜会を催しましたが大変ご好評を戴き、私達も企画してよかったです喜んでおります。私達もご年輩の方々の豊富な話題と練達した芸を見せて戴き、大変良い勉強をさせて頂きました。また、是非ご一緒させて頂きたい。

計 報

当町会にお住まいの方で本年3月下旬から6月末までの間に御逝去された方々のお名前は左記のとおりでございます。

謹んでお悔やみを申し上げて冥福をお祈り致しております。

松田スナオ様、沢ミサ様、今堀 照様
小泉忠利様、奥田富栄様

編 集 部

今年は雨らしい雨もとうとう降らずに梅雨が明けてしまい、夏本番を迎えるこれから水不足という不自由な生活を強いられる事に成りそうです。

酷暑を迎えるこれから会員皆様には健康に充分留意なさってお過ごし下さい。

当町会の平成2年度総会もさる6月30日に開催し平成元年度の決算並びに平成2年度の予算について慎重に審議し可決致しましたことを報告申し上げます、なお、平成元年度の決算書並びに平成2年度の予算書は巻末に掲載してございますのでご覧下さい。

編集委員

小林音吉、竹中一馬、高橋一郎、
猪熊良晃、池田 暉、

平成元年度決算報告書

平成1年4月1日～平成2年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
繰越金	3,721	区より	総会費	199,630	会場費及茶菓子代
町会費	1,638,400		会議費	63,996	役員会々場費茶菓子代
補助金	167,430		総務部	232,500	部会・研究等に
寄付金	30,000		渉外費	145,650	関係団体等
雑収入	144,466		備品費	51,606	維持及購入費
銀行利息	1,493		事務費	67,844	
			通信・交通費	90,800	
			電気代	49,904	防犯灯・維持費含む
			防火防災部	5,200	部の活動費
			防犯部	31,541	部の活動費
			交通部	56,270	部の活動費
			衛生部	0	部の活動費
			文化部	121,670	部の活動費
			婦人部	203,834	部の活動費
			青年部	230,000	部の活動費
			慶弔費	50,000	
			消耗品費	25,200	
			防災積立金	300,000	
			繰越金	59,865	
合計	1,985,510		合計	1,985,510	

平成2年3月31日

収支決算上記の通り報告します。
上記の決算相違なき事証明します。

防災積立金 ￥1,407,713 (今年度分を含む)

町会長 高島正義 ㊟
会計 川西正造 ㊟
会計監査 竹中一馬 ㊟

平成2年度予算書

平成2年4月1日～平成3年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
繰越金	59,865	前年度より	総会費	200,000	会場費及茶菓子代
町会費	1,700,000	(区より)	会議費	60,000	役員会々場費茶菓子代
補助金	167,430		総務部	350,000	部会・研究等に
雑収入	100,000	銀行	渉外費	200,000	関係団体等
利息	1,000		備品費	60,000	維持・購入費
			事務費	80,000	
			通信・交通費	100,000	
			電気代	50,000	防犯灯維持費含む
			防火防災部	60,000	訓練費他
			防犯部	60,000	夜警等に
			交通部	80,000	安全運動費他
			衛生部	10,000	
			文化部	180,000	蓬萊町だより・成人・新入学
			婦人部	230,000	敬老費他
			青年部	250,000	部費
			慶弔費	30,000	
			消耗品費	20,000	
			防災積立金	0	
			予備金	8,295	
合計	2,028,295		合計	2,028,295	

町 会 員 各 位 殿

平成2年6月
蓬 萊 町 会